

一線級研究者や有識者約1,500名による第4期科学技術基本計画中(2011~2015年度)の我が国の科学技術イノベーションの状況変化についての意識



大学・公的研究機関における研究活動の基盤に対する危機感の増大

状況が悪くなったとの認識が多い質問(上位6)



57の質問から我が国の科学技術やイノベーションの状況を包括的に把握

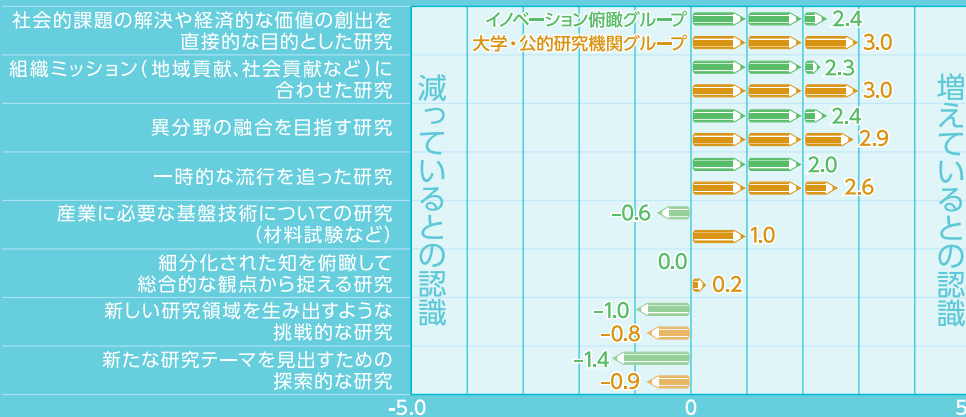


イノベーション政策への期待感の増大・一部進展 科研費の使いやすさやURAの育成・確保の進展

状況が良くなったとの認識が多い質問(上位6)



過去10年の大学や公的研究機関における研究の内容の変化



過去10年の大学や公的研究機関における研究者の行動の変化



回答者は2つのグループから構成(同一の回答者に毎年同じ調査を継続して実施)

イノベーション俯瞰グループ(約500名)

- 産業界等の有識者
- 研究開発とイノベーションの橋渡し(ベンチャー、産学連携本部、ベンチャーキャピタル等)を行っている方
- シンクタンク、マスコミで科学技術にかかわっている方
- 病院長など

大学・公的研究機関グループ(約1,000名)

- 大学・公的研究機関の長(82大学、26公的研究機関)
- 世界トップレベル研究拠点の長
- 最先端研究開発支援プログラムの中心研究者
- 大学・公的研究機関の部局や事業所の長から推薦された方(82大学、26公的研究機関)

注1: 推薦は教授クラス、准教授クラス、助教クラス各1名の計3名を依頼。注2: 産業界等の有識者は、科学技術政策関係の審議会、分科会等の有識者、日本経団連の各種部会への参加企業の研究開発・生産技術等を担当している執行役員クラスの方、第3期科学技術基本計画中の定点調査の企業回答者、中小企業の代表から選定。